



株式会社ウエストフードプランニング SDGs宣言

当社は、「食を通じて、心も身体も満たされる食文化の創造」をミッションに掲げ、
事業活動を通じて「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に貢献し、
地域課題の解決および、持続可能な社会の実現に努めてまいります。

2023年9月1日

株式会社ウエストフードプランニング

代表取締役 小西 啓介



重点項目(ターゲット2030)

讃岐うどんで元気を届ける

麺・鮮度・だし・野菜に拘った「讃岐うどん」の提供を通じて、お客様に元気をお届けします。これからも日々切磋琢磨し、世界のお客様に感動と喜びを提供できるよう、新たな事業展開を目指します。

【主な取り組み】

うどんだしへの希少糖シロップの使用、安心・安全な野菜の提供、「カレタマ」・手打ちキット「げんき玉」など新たな飲食ブランドの展開、「フリーネームFC」の拡大によるノウハウ提供



環境への配慮

環境問題を重要な経営課題のひとつと捉え、省エネ・省資源・リサイクルを実践するとともに、食品残渣を抑制するための取り組みなどにより、環境への配慮に努めていきます。

【主な取り組み】

店舗照明のLED化、店舗への太陽光パネル設置(自家消費)、フードロス削減への取り組み(商品として提供しないうどんの無償提供)、水使用量の把握・削減目標の策定・進捗管理



夢を実現できる職場づくり

すべての従業員が自身の夢を実現できるよう、多彩な教育・研修制度を整備し、キャリアアップをサポートします。また、福利厚生面も充実させ、働きがいのある職場を目指します。

【主な取り組み】

多様な人材の採用、360度評価の導入、多彩な教育・研修制度(キャリアアップセミナー、外国語講座など)、福利厚生の充実(5連休制度、独立支援制度など)、適材適所の人材配置



地域を元気に

地域への感謝の気持ちを忘れず、地産地消の推進や災害復旧支援などに取り組みます。地域のステークホルダーの皆さまとのつながりを深め、耕作放棄地の再生などに取り組み、地域経済の活性化に貢献します。

【主な取り組み】

関連会社との連携による地産地消への取り組み、地元食材の優先利用、丸亀城石垣復旧支援、耕作放棄地の再生、手打ち体験の開催、清掃活動・地域行事への積極的な参加



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」とは

- ・ 貧困、気候変動、人種・性差別、働き方などのさまざまな問題が顕在化する中、持続可能な社会をつくるために国連が定めた国際目標です。2030年までに解決すべき優先課題として、17の目標と169のターゲットが示されています。
- ・ 目標を達成するために、国連や政府だけでなく、企業やNPO、個人等が幅広く担い手として活躍するよう期待されています。
- ・ 企業がSDGsに取り組むことで、「気候変動をはじめ経営環境が変化していく中でも持続可能な組織である」と示すことにつながります。